

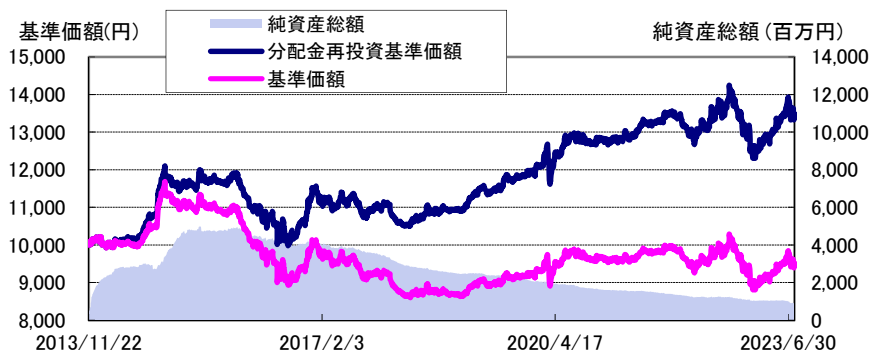
# USストラテジック・インカム・アルファ

## 毎月決算型／年1回決算型

追加型投信／内外／債券  
2023年7月31日基準

### 毎月決算型

#### 運用実績の推移



(設定日: 2013年11月25日)

基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。

分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。

分配金再投資基準価額＝前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

#### 騰落率(税引前分配金再投資)

1か月	3か月	6か月	1年	2年	3年	5年	設定来
-2.63%	3.37%	7.37%	-1.14%	2.47%	5.87%	24.55%	35.00%

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。また設定来の騰落率については、設定当初の投資元本を基に計算しています。

#### 基準価額・純資産総額

基準価額	9,520 円
純資産総額	901 百万円

※基準価額は1万口当たり。

#### ポートフォリオ構成

DIAMケイマン・ファンド	
Janus USコアプラス・ボンド・ファンド	95.6%
米ドル建てアルファ毎月決算クラス	
国内マネー・マザーファンド	0.7%
現金等	3.8%

※1 比率は純資産総額に対する割合です。

※2 現金等の中には未払金等が含まれるため、比率が一時的にマイナスとなる場合があります。

#### 分配金実績(税引前) ※直近3年分

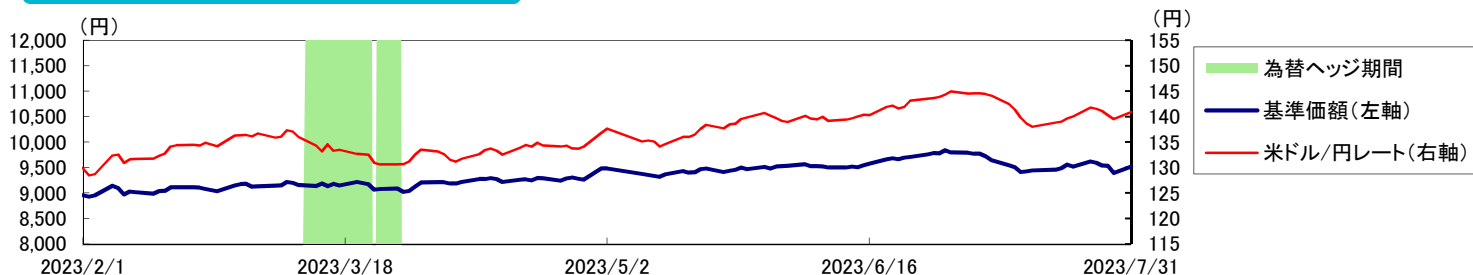
第81期 (2020.08.24)	20 円	第93期 (2021.08.23)	20 円	第105期 (2022.08.23)	20 円
第82期 (2020.09.23)	20 円	第94期 (2021.09.24)	20 円	第106期 (2022.09.26)	20 円
第83期 (2020.10.23)	20 円	第95期 (2021.10.25)	20 円	第107期 (2022.10.24)	20 円
第84期 (2020.11.24)	20 円	第96期 (2021.11.24)	20 円	第108期 (2022.11.24)	20 円
第85期 (2020.12.23)	20 円	第97期 (2021.12.23)	20 円	第109期 (2022.12.23)	20 円
第86期 (2021.01.25)	20 円	第98期 (2022.01.24)	20 円	第110期 (2023.01.23)	20 円
第87期 (2021.02.24)	20 円	第99期 (2022.02.24)	20 円	第111期 (2023.02.24)	20 円
第88期 (2021.03.23)	20 円	第100期 (2022.03.23)	20 円	第112期 (2023.03.23)	20 円
第89期 (2021.04.23)	20 円	第101期 (2022.04.25)	20 円	第113期 (2023.04.24)	20 円
第90期 (2021.05.24)	20 円	第102期 (2022.05.23)	20 円	第114期 (2023.05.23)	20 円
第91期 (2021.06.23)	20 円	第103期 (2022.06.23)	20 円	第115期 (2023.06.23)	20 円
第92期 (2021.07.26)	20 円	第104期 (2022.07.25)	20 円	第116期 (2023.07.24)	20 円
				設定来累計分配金	3,380 円

※1 分配金は1万口当たり。

※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

#### 為替ヘッジ戦略(直近6ヵ月)



※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne

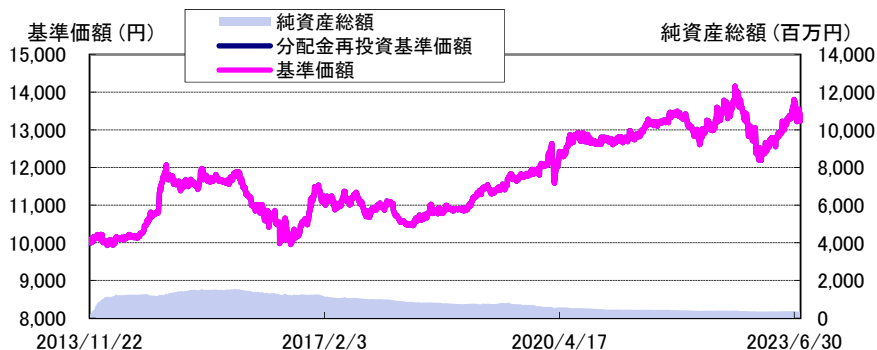
# USストラテジック・インカム・アルファ

## 毎月決算型／年1回決算型

追加型投信／内外／債券  
2023年7月31日基準

### 年1回決算型

#### 運用実績の推移



(設定日: 2013年11月25日)  
基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。  
分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。  
分配金再投資基準価額 = 前日分配金再投資基準価額 × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

#### 基準価額・純資産総額

基準価額	13,400 円
純資産総額	337 百万円

※基準価額は1万口当たり。

#### ポートフォリオ構成

DIAMケイマン・ファンド	
Janus USコアプラス・ボンド・ファンド 米ドル建てアルファ年1回決算クラス	97.2%
国内マネー・マザーファンド	0.7%
現金等	2.1%

※比率は純資産総額に対する割合です。

#### 騰落率(税引前分配金再投資)

1か月	3か月	6か月	1年	2年	3年	5年	設定来
-2.52%	3.66%	7.68%	-1.33%	2.20%	5.53%	24.13%	34.00%

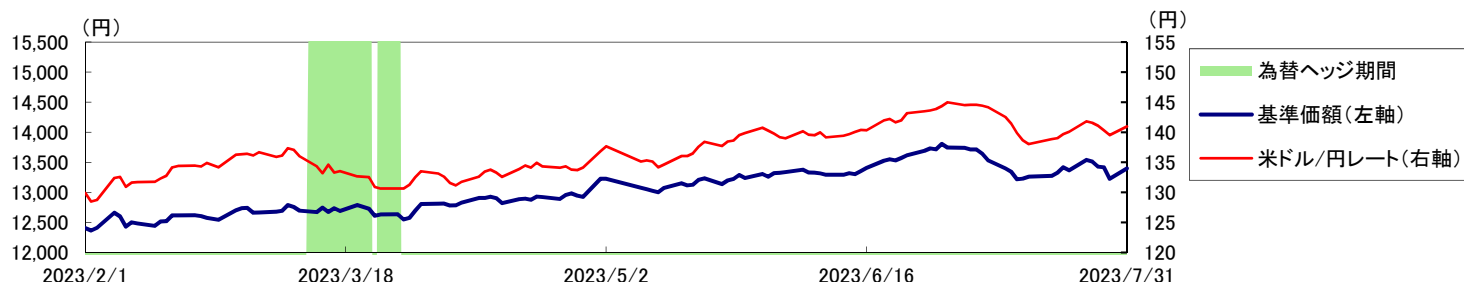
※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。また設定来の騰落率については、設定当初の投資元本を基に計算しています。

#### 分配金実績(税引前) ※直近3年分

第7期 (2020.08.24)	0 円
第8期 (2021.08.23)	0 円
第9期 (2022.08.23)	0 円
設定来累計分配金	0 円

※1 分配金は1万口当たり。  
※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
分配金が支払われない場合もあります。

#### 為替ヘッジ戦略(直近6か月)



※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。  
※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

# USストラテジック・インカム・アルファ

毎月決算型／年1回決算型

2023年7月31日基準

## DIAMケイマン・ファンドー Janus USコアプラス・ボンド・ファンドの状況

※ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーの現地月末データを基に作成しています。  
※格付は個別銘柄格付を採用しています。

### ポートフォリオ構成

債券等	98.9%
現金等	1.1%

※比率は純資産総額に対する割合です。

### 格付別構成比

A以上	59.4%
BBB	17.2%
BB	1.1%
B	0.0%
CCC以下	22.3%

※比率は組入債券評価額に対する割合です。  
※格付についてはS&P社による格付を採用しています。また、+-等の符号は省略して表記しています。  
※CCC以下には格付を取得していないものを含みます。

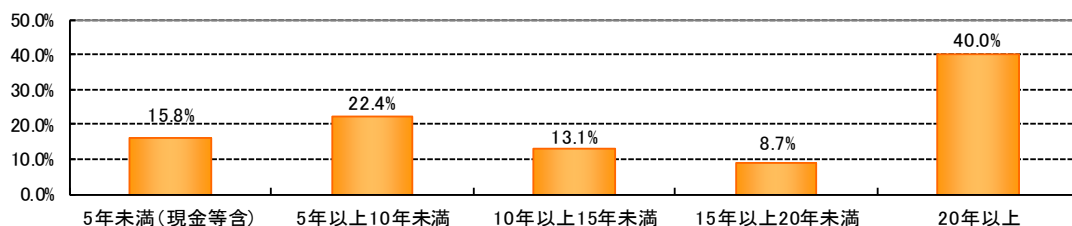
### ポートフォリオの状況

平均クーポン	4.25%
平均最終利回り	5.61%
平均残存期間(年)	16.55
デュレーション	6.91
平均格付	A+
組入銘柄数	376

※上記のデータ(平均格付、組入銘柄数を除く)については純資産総額を基に計算しています。  
※平均格付については、組入銘柄の格付(格付機関3社(S&P、Moody'sおよびFitch)による格付に基づく)を組入債券評価額に対する割合で加重平均したものであり、S&Pの表記方法にあわせて表示しています。また、当ファンドの信用格付ではありません。

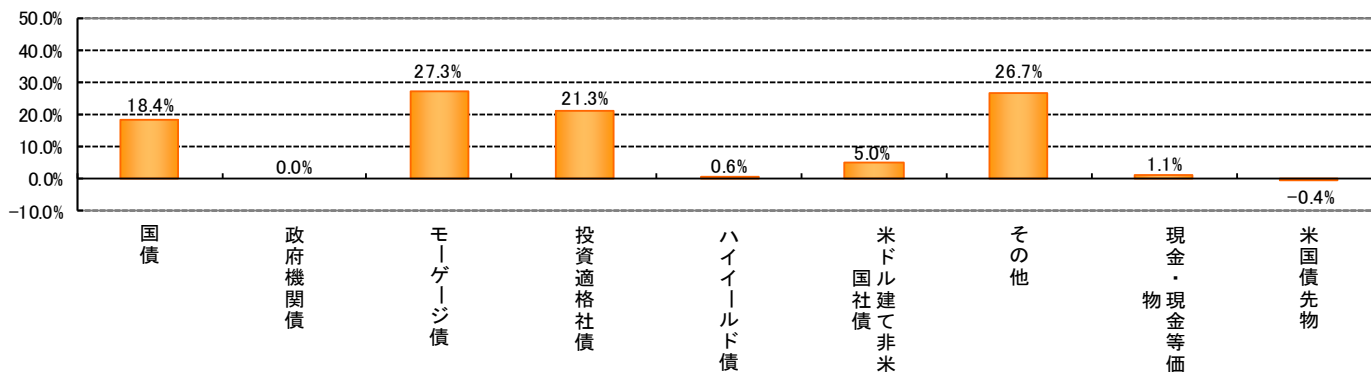
### 残存期間別構成比

※比率は純資産総額に対する割合です。



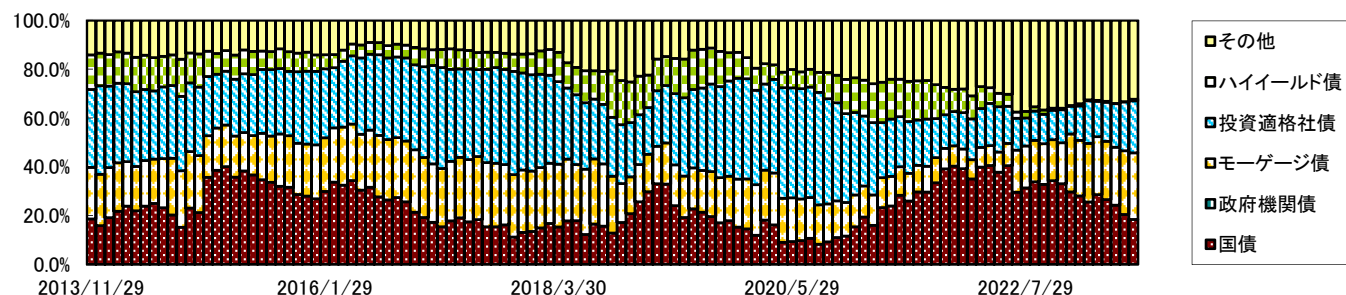
### 種別構成比

※比率は純資産総額に対する割合です。



### 各債券種類への投資比率の推移(月末値)

※比率は純資産総額に対する割合です。  
※『その他』には、米ドル建て非米国社債、現金・現金等価物を含みます。



※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。  
※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

# USストラテジック・インカム・アルファ

## 毎月決算型／年1回決算型

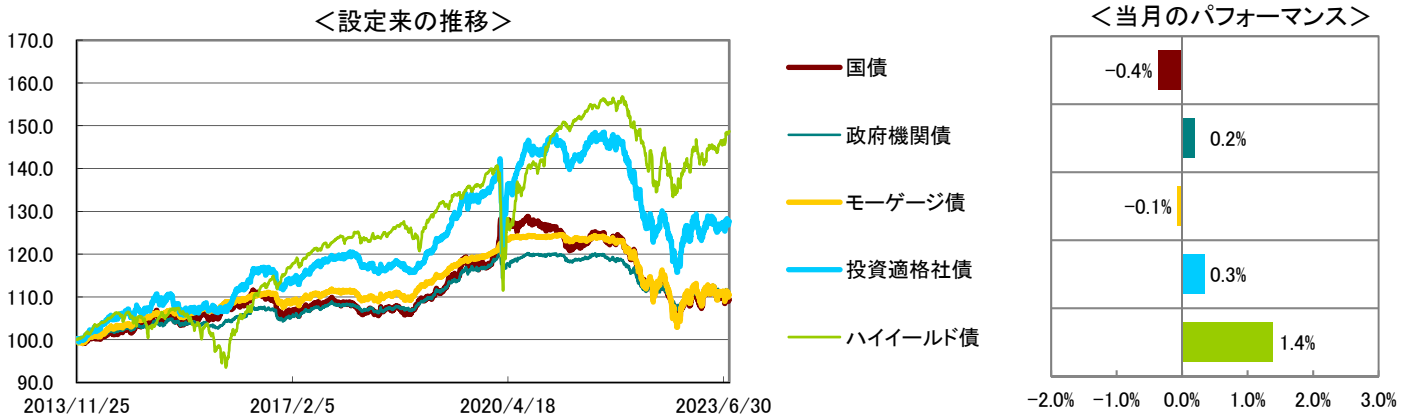
2023年7月31日基準

### 組入上位10銘柄

No.	銘柄	種別	クーポン	償還日	格付	組入比率
1	United States Treasury Note/Bond	国債	3.625%	2053/2/15	AA+	4.3%
2	United States Treasury Note/Bond	国債	3.875%	2043/5/15	AA+	3.9%
3	United States Treasury Note/Bond	国債	3.375%	2033/5/15	AA+	2.6%
4	Freddie Mac Pool	モーゲージ債	2.500%	2050/10/1	AA+	2.4%
5	United States Treasury Note/Bond	国債	4.125%	2028/7/31	AA+	2.4%
6	Fannie Mae Pool	モーゲージ債	3.000%	2057/2/1	AA+	1.9%
7	Freddie Mac Pool	モーゲージ債	3.500%	2047/12/1	AA+	1.7%
8	United States Treasury Note/Bond	国債	4.000%	2030/7/31	AA+	1.7%
9	United States Treasury Note/Bond	国債	3.875%	2043/2/15	AA+	1.5%
10	United States Treasury Note/Bond	国債	1.125%	2028/8/31	AA+	1.4%

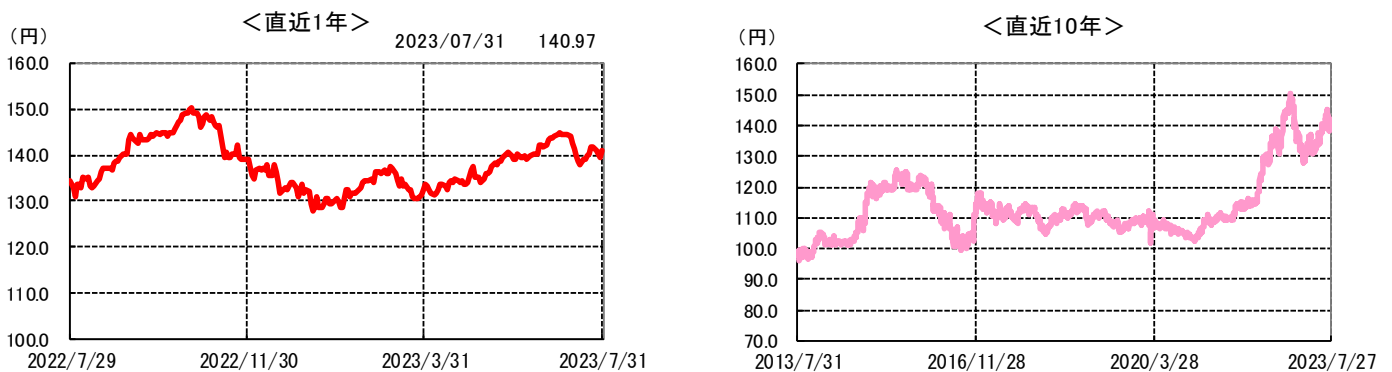
※組入比率は純資産総額に対する割合です。  
 ※格付についてはS&P社による格付を採用しています。

### 【市況動向】各種債券の推移



※USストラテジック・インカム・アルファの設定日(2013年11月25日)を100として指数化しています。  
 ※上記の各種債券として使用している債券指数は以下の通りです。  
 国債:ブルームバーグ・米国国債インデックス  
 政府機関債:ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス  
 モーゲージ債:ブルームバーグ・米国MBSインデックス  
 投資適格社債:ブルームバーグ・米国社債インデックス  
 ハイイールド債:ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックス

### 米ドル/円の推移



※為替レートは、一般社団法人 投資信託協会が公表する対顧客電信売相場の中値 (TTM)です。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。  
 ※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

# USストラテジック・インカム・アルファ

毎月決算型／年1回決算型

2023年7月31日基準

## マーケットの動向とファンドの運用状況

7月の米国の債券市場は、月上旬は、堅調な米経済指標を受けて米金利が急上昇(価格は下落)しました。その後、米雇用統計が市場予想を下回ったことや米インフレ指標が鈍化したことを受け、FRB(米連邦準備理事会)のタカ派姿勢が緩和されるとの期待感から、米金利は低下(価格は上昇)に転じました。月下旬は、FRBが追加利上げを実施し、米経済が大幅な景気後退を回避できるとの見通しが強まったことから、米金利は再度、上昇(価格は下落)に転じました。

米国の10年国債利回りが上昇し、社債のクレジット・スプレッドは縮小しました。こうした環境下、投資適格社債の保有などがプラス寄与となりました。

市場のボラティリティが低位に推移したため、為替ヘッジを実施致しませんでした。  
(為替ヘッジ取得および為替ヘッジ解消のオペレーションは原則として東京時間午前中に実施しています。)

債券部分のプラス寄与を、為替部分のマイナス寄与が上回り、毎月決算型、年1回決算型ともに前月末比でマイナスリターンとなりました。

## 今後のマーケットの見通しとファンドの運用方針

7月24日より償還対応のため資産売却を開始しました。

※上記のマーケット動向とファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国国債インデックス、ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス、ブルームバーグ・米国MBSインデックス、ブルームバーグ・米国社債インデックス、ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、各ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、各ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。  
※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne

# USストラテジック・インカム・アルファ

毎月決算型／年1回決算型

2023年7月31日基準

## ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

- 主として米ドル建て米国債券<sup>(\*)</sup>に投資し、各債券種類への投資比率を機動的に変更することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
  - ・米ドル建ての外国投資信託「DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド」への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。
  - ・外国投資信託の実質的な運用は、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーが行います。
- (\*) 主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な債券種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等です。なお、米国以外の企業が発行した米ドル建て社債等に投資する場合があります。
- ※ファンドは、「国内マネー・マザーファンド」にも投資します。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
- 通常時は為替ヘッジを行いませんが、円高・米ドル安が予想される局面では一時的に為替ヘッジを行います。
- 分配頻度の異なる2つのファンド(毎月決算型、年1回決算型)から、お客さまの投資ニーズに合わせて選択できます。
  - ① 毎月決算型 毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として配当等収益と売買益等から分配を行います。
  - ② 年1回決算型 毎年8月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として配当等収益と売買益等から分配を行います。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
- 分配金が支払われない場合もあります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

- ・ 各ファンドは、特化型運用ファンドです。特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度<sup>※</sup>が10%を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。
- ・ 各ファンドが実質的な主要投資対象とする米ドル建て米国債券には、寄与度が10%を超えるまたはを超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- ※ 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額に占める一発行体当たりの時価総額の割合、または運用管理等に用いる指数における一発行体当たりの構成割合をいいます。

## 主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 金利リスク…… 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。ファンドが実質的に投資するハイイールド債は、こうした金利変動の影響をより大きく受ける可能性があります。
- 為替リスク…… ファンドは実質組入外貨建資産について、円高・米ドル安が予想される局面に対円での為替ヘッジを行います。為替ヘッジを行わない場合、為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高・米ドル安になった場合には基準価額が下がる要因となります。為替ヘッジを行う場合、為替リスクの低減をめざしますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく為替相場の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジには円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分程度のコストがかかることにご留意ください。
- ファンドは、必ずしも円高・米ドル安局面で為替ヘッジを行うことや、円安・米ドル高局面で為替ヘッジを行わないことを約束するものではありません。為替ヘッジのタイミング等により、為替ヘッジを行っても為替変動リスクを抑制できない場合や為替ヘッジを行わなくても為替差益を享受できない場合があります。
- 信用リスク…… ファンドが実質的に投資する債券の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、債券の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。ファンドが実質的に投資するハイイールド債は、格付の高い債券に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。
- 流動性…… ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなること、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。ファンドが実質的に投資するハイイールド債は、格付の高い債券に比べ市場規模や取引量が少なく、市況動向等によっては取引機会を急激に逸失するなど、流動性リスクが大きくなる場合があります。
- 期限前…… モーゲージ債の原資産である住宅ローンは、一般的に金利が低下すると借り換えによる返済が増え、金利が上昇すると借り換えによる返済が減少する傾向があり、モーゲージ債の価格は上下します。ファンドは、実質的にモーゲージ債に投資しますので、住宅ローンの期限前返済の増減にともなう金利感応度の変化により基準価額が上下したり、基準価額が大きく下がる場合があります。
- 再投資リスク… 投資したモーゲージ債の期限前償還などにより生じた金銭は、その時の実勢金利にて再投資しなければならないため、金利低下局面では、再投資後の利回りが、当初期待した利回りより低くなること、当該債券の価格は下落する場合があります。したがって、モーゲージ債の期限前の償還金の増減により、基準価額が上下します。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne

USストラテジック・インカム・アルファ  
毎月決算型／年1回決算型

2023年7月31日基準

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までには販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2023年8月23日まで(2013年11月25日設定)
繰上償還	各ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)させます。 次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益者のために有利であると認める場合。 ・受益権口数が10億口を下回るようになった場合。 ・やむを得ない事情が発生した場合。
決算日	毎月決算型:毎月23日(休業日の場合は翌営業日) 年1回決算型:毎年8月23日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月決算型:年12回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 年1回決算型:年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
スイッチング	「USストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型」と「USストラテジック・インカム・アルファ 年1回決算型」との間でスイッチングができます。スイッチングとは、すでに保有しているファンドを換金すると同時に他のファンドの購入の申込みを行うことをい、ファンドの換金代金が購入代金に充当されます。スイッチングの際には、ご換金時の費用(信託財産留保額)がかかるほか、税金および各販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。 ※販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。  
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.1%</b> の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。
●投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	実質的な負担:各ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.48%(税抜1.39%)(概算)</b> ・各ファンド:ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.99%(税抜0.90%) ・投資対象とする外国投資信託:外国投資信託の純資産総額に対して年率0.49%程度
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 ※投資対象とする外国投資信託においては、上記以外にもその他の費用・手数料等が別途かかる場合があります。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。  
※P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

# USストラテジック・インカム・アルファ

## 毎月決算型／年1回決算型

2023年7月31日基準

### 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 各ファンドは、実質的に債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点(2023年8月15日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

#### ◆委託会社およびファンドの関係法人◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 <受託会社>株式会社りそな銀行  
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください

#### ◆委託会社の照会先◆

アセットマネジメントOne株式会社  
 コールセンター 0120-104-694  
 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)  
 ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

### 販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2023年8月15日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○		
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○		
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○		
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号	○				
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第3号	○		○		※1
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号	○				※1

- 販売会社によっては、一部ファンドのみのお取扱いとなる場合があります。
- その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。
- 上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

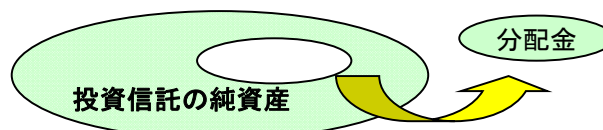
(原則、金融機関コード順)

※当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

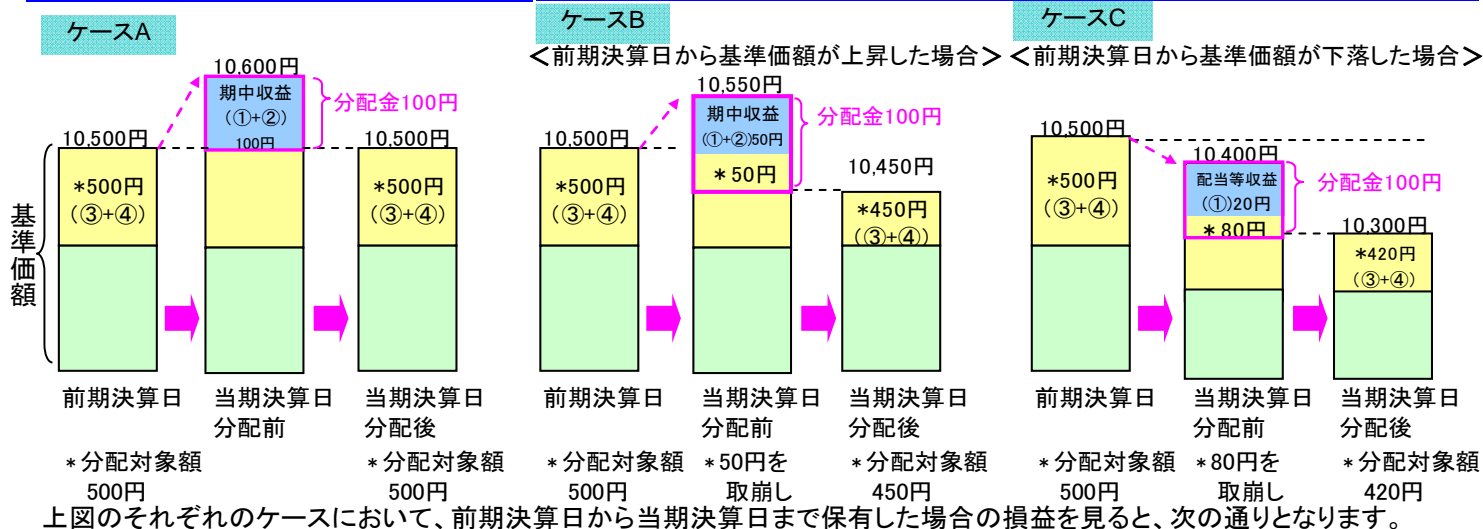
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円 = ▲100円

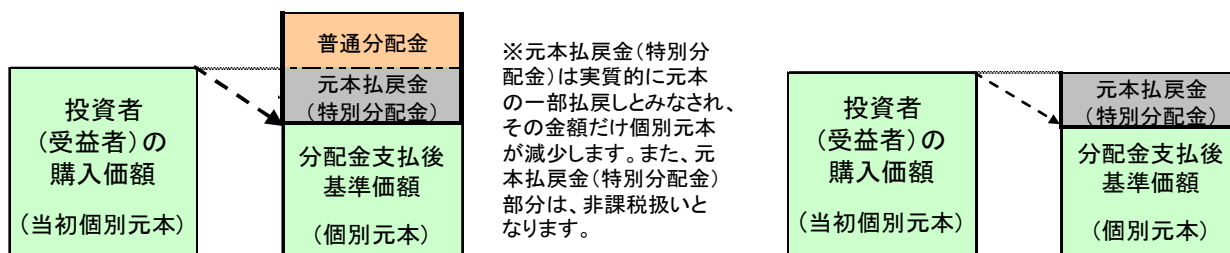
★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金** : 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金(特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。